

ワイヤレスモデル

IG610BT

クイックマニュアル Ver1.00



○著作権について

このマニュアルには、著作権で保護されています。
著作権法に基づき、このマニュアルは、全てまたは一部を複写、写真複写、複製、翻訳、事前の書面による承諾なしに利用することは出来ません。

○限定保証

このマニュアルは、製品を使用する前に、確認を行ってください。

いかなる場合においても、
また、そのような損害の可能性について知らされていた場合でも、
このマニュアルまたは製品の使用、または使用できないことから生じるいかなる、直接的、間接的、特別、結果的または損害について責任を負わないものとします。

○設定について

本体ファームウェア、初期設定等は
内容は予告なく変更する場合があります。

また、本書は詳細マニュアルよりよく使われる設定を抜粋した
マニュアルになります。
詳細は下記のページより詳細マニュアルをダウンロードください。

◆マニュアルダウンロードリンク

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html

○製品保証

ページ最後の製品保証書よりご確認ください。

17. 製品保証書

製品保証書	
この製品保証書は、当社が定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。 修理をお申込みの際は下記の項目を記載し P4 の付属品がすべて揃っていることを確認して下さい。 紛失している場合、有償保証となる可能性がございます。	
保証期間：ご購入日より1年間	
製品名	
シリアル番号	
製品保証	<input type="checkbox"/> 期間内 <input type="checkbox"/> 期間外
修理金額が発生する場合	<input type="checkbox"/> 見積もり必要 <input type="checkbox"/> 見積もり不要（商品返却必要） <input type="checkbox"/> 見積もり不要（商品破棄希望）
ご注文番号又は納品番号 メール・又は納品書に記載	
ご注文日 (上記紛失時)	
ご連絡先	TEL : Email :
会社名	
ご担当者名	
症状/症状前の操作等	
◆修理お申し込みフォーム http://www.media9.co.jp/m_tuhan/repairform.html	
当製品に関するお問合せ先 株式会社メディア九州 POS ショッピングストア 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 1661-6 TEL:0942-48-0614 FAX:0942-48-2224 受付時間：平日 10:00～18:00（土日祝除く）	

16. 製品保証

1. 保障期間中に、正常な状態において本体が故障した場合、
無料にて故障箇所の修理を致しますので、
保証書をそえて弊社まで送付下さい。
なお、送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
 - ①保証書をご提示されないとき。
 - ②誤った使用、改造等による故障及び損傷
 - ③天災、異常電圧等の外部要因に起因する故障及び損傷
 - ④保証書の未記入、記載内容の書き換えられたもの
 - ⑤その他弊社の判断に基づき有償と認められるもの
3. 保証書は再発行しませんので大切に保管して下さい。
保証書は、本書に明示した期間、条件において無償修理を
お約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を
制限するものではありませんので、保証期間経過後の
修理についての詳細は弊社までお問合せ下さい

内容

1.付属品.....	4
2.製品スペック	5
3.本体説明（バーコードリーダー）	6
4.本体説明（クレードル・表面）	7
5.本体説明（クレードル・裏面）	7
6.ご利用方法（読み取り方法）	8
7.充電方法.....	8
8.LEDの動作（スキャナー）	9
9.LEDの動作（クレードル）	9
10.ペアリング（クレードルを使う）	10
11. ペアリング（その他 Bluetooth 端末）	12
12. モード別操作：範囲外蓄積.....	14
13. 設定用コード1（初期化関連1）	15
13. 設定用コード2（初期化関連2）	16
14. 設定バーコード利用方法	17
14-1. 設定用コード（Bluetooth）	18
○範囲外蓄積（範囲外 Batch モード）	18
○送信モード選択（蓄積送信）.....	18
14-2. 設定用コード（Bluetooth）	19
○文字間遅延の設定	19
14-3. 設定用コード（スキャナー）	20
○読み取り時ビープの有効・無効.....	20
○読み取り時ビープの音量	20
○トリガーモード（照射の方法）	20
14-4. 設定用コード（スキャナー）	21
○スリープモード.....	21
○キーボードの設定（違う記号になる等の対処）	21
○末尾付加コード送信の有効・無効	21
○付加コード（末尾）-1	22
○付加コード（末尾）-2	23
14-5. 設定用コード（QRコード）	24
15. トラブルシューティング	25
16. 製品保証	26
17. 製品保証書.....	27

1. 付属品

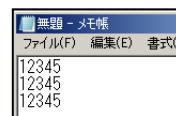
番号	名称
1	バーコードリーダー本体
2	充電・通信スタンド
3	電源ケーブル・電源コネクタ
4	バッテリー（本体内存済）
5	USB 通信ケーブル（USB モデルのみ）
6	製品箱
7	完全マニュアル（英語） ※Web ページより日本語版がダウンロード可能です http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html

万一、破損していた場合は、直ちに販売店にお問い合わせください。

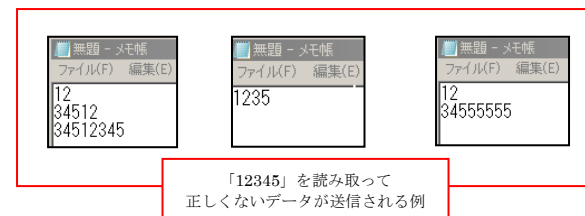
修理などの際も上記が揃っていることをご確認ください。
緩衝材・袋に関しては紛失してもサポート致します。

15. トラブルシューティング

Q1. 送信したバーコードの数字がバラバラになる、
おかしい場所で改行が起こる、桁落ちが見られる。



正常なデータ「12345」を送信した時



A1. バーコードリーダーの入力速度に受信側端末の処理が追いついていない可能性がございます。
P.O.より遅延の設定を行ってください。

Q2. ios 端末にてキーボード呼び出しを行いたい。

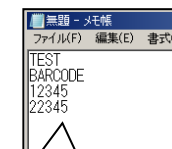
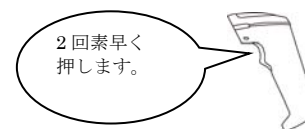
A2. 下記の操作を行います。

ios 端末でペアリングを行っている際に
2回素早くトリガーを押すことでキーボードを表示させることが可能です。
再度2回、トリガーを押すことで非表示に出来ます。



ios の画面（イメージ）

Q3. 再ペアリング後にデータが送信されなくなった。
A3. 通信範囲外やペアリングが切れた際に読み取られた
バーコードのデータが IG610BT に蓄積されているためです。
これらのデータを全て送信することで解消されます。



通信が切れていたときのデータが送信されます。

14-5. 設定用コード (QR コード)

データの中に日本語が含まれる QR コードを読み取る際、下記の設定を行ってください。



「メディア太郎」

日本語入りの QR コード例

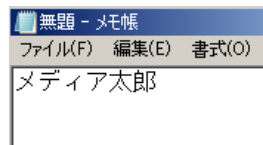
1. QR コードに対応したバーコードを読み取ります。

※どの QR コードかわからない場合は Shift-JIS_QR をお試しください。

Shift-JIS_QR	UTF-8_QR
%%%3C3	%%%3C7

2. お使いのソフトにて送信を行い

正常に送信されるかを確認します。



(正常な例)

※「Shift-JIS_QR」を試して送信できない場合、「UTF-8_QR」をお試しください。

◆送信ができない場合

別途ソフトの常駐にて対応可能です。

○IG610BT 日本語 QR コード送信ソフト

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html#vcom

※「MD610・IG710・IG610BT」の日本語 QR コード送信マニュアルをご確認ください。

2. 製品スペック

○スキャナー		○Bluetooth 仕様	
寸法	71.13 x 62.61 x 169.27 mm (WxHxL)	Bluetooth	Bluetooth V2.1 EDR
サイズ	182g	周波数帯域	2.402GHz ~ 2.480GHz
○クレードル		伝送距離	80m まで
寸法	112.18 x 84.64 x 130.6 mm (WxHxL)	RF 電力値	クラス 1 20 dBm 未満
サイズ	147g	○バッテリー	
○利用環境・保護耐性		電圧バッテリー	リチウム電池 3.7V/2,600mAh
動作温度	0° C ~ 50° C	充電時間	約 5 時間程度
保管温度	-20° C to 70° C	フル充電から読み取り回数	20000 回
湿度	20% to 95% ※結露なきこと	○クレードル	
保護	IP42	電圧	5V
○読み取り仕様		動作消費	70mA
光源	赤 LED 625 ± 5nm	○耐久	
スキャンレート	60 イメージ/秒 2D モード	MTBF IG610BT	40,000 時間
分解能	1 次元コード: 4mil/0.1mm 2 次元コード: 5mil/0.127mm	ケーブル曲げ試験	300 回/分@ 500g / 90°
読み取り深度	500mm@20mil/0.5mm, PCS90%まで	落下テスト	1.5m の高さからの 落下テストクリア
視野	40° 水平、25° 垂直	○対応コード	
インジケータ	ビープと LED	1 次元	JAN, EAN, UPC, UCC/EAN128, ISBN, ISBT, Code 11, Code 39, Code 93/93i, Code 128, Interleaved, Matrix, Industrial Standard 2 of 5, Codabar (NW-7) MSI, Plessey, Telepen, Postal codes, GS1 DataBar
スキャン角度	Pitch : ±60° (前後) Skew: ± 60° Rotation : ±180°		
環境光	100,000 Lux Max.	2 次元	QR code, QR code (色反転), Data Matrix, Data Matrix (色反転), PDF 417, Micro PDF417 Maxi code, Aztec, Aztec (色反転) EAN, UCC composite, Micro QR code
インターフェイス	・USB (HID, Virtual COM) ※クレードル利用時 ・Bluetooth (HID SPP) ・RS-232C (別売。お問い合わせください。) ※クレードル利用時		

3.本体説明（バーコードリーダー）



○付加コード(末尾)-2

バーコードデータの後に付加する文字を設定することが出来ます。
例:Space を付加する場合、「50C0006」→「1」→「0」→「3」→「2」の順で読み取ります。
※「付加コード無し」は別設定になるのでP21をご確認ください。

TAB(VCOM)	Space(スペース)
50C0006	50C0006
1	1
0	0
0	3
9	2

※別紙より QR コードツール、COMTEXT 等、VirtualCOM 通信にてデータを送信する際に TAB を付加する場合は TAB(VCOM)をご利用ください。



















※付加をしない場合は P21 をご確認ください。

○付加コード(末尾)-1

バーコードデータの後に付加する文字を設定することが出来ます。

例: Enter を付加する場合、「50C0006」→「1」→「0」→「1」→「3」の順で読み取ります。

※「付加コード無し」は別設定になるのでP21をご確認ください。

Enter	TAB(HID)
 50C0006	 50C0006
	
 1	 7
	
 0	 0
	
 1	 0
	
 3	 9

※別紙より QR コードツール、COMTEXT 等、VirtualCOM 通信にてデータを送信する際に TAB を付加する場合は TAB(VCOM)をご利用ください。

※付加をしない場合は P21 をご確認ください。

4.本体説明 (クレードル・表面)

スキャナー装着部分:

充電する際、ここにセットします。

P8 を参照してください。

LED:

クレードルの状態を確認できます。

P9 を参照してください。



5.本体説明 (クレードル・裏面)

ケーブルピン:

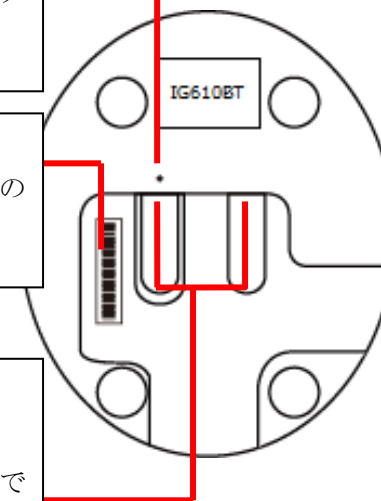
USB ケーブルを取り外す際、ここをクリップなどで押して外します。

ペアリングコード:

スキャナーをペアリングするためのバーコードです。

USB・AC 接続部分:

USB (左部分) と充電用 AC ケーブル (右部分) 端子です。

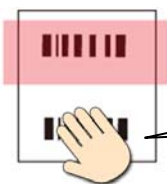


6. ご利用方法（読み取り方法）

- トリガーボタンを引き、バーコードを読み取ります。
バーコードを読み取る際はバーコードを照射の光が覆うように読み取ります。
また、タッチ式のものとは異なり、2次元対応モデルのため、
バーコードより距離を置いて読み取ります。



- また、読み取り範囲が広いのでコードが密集している際は
手で読み取りたくないバーコードを隠し読み取ってください。

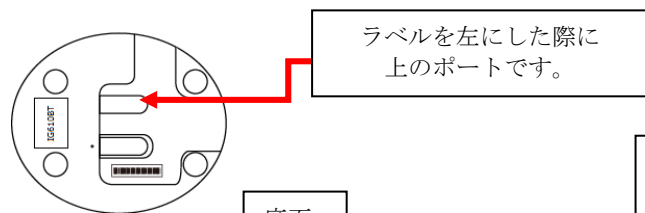


手で読み取らない
コードを隠してください。

7. 充電方法

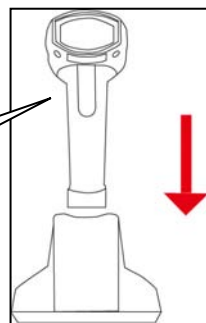
- ACアダプターとクレードル（底面）を接続します。

※USB ケーブルだけでは充電できません。



- スキャナーをクレードルにセットします。
LEDは図を例にすると後ろになります。

LEDはクレードルの
裏側になります。



※バッテリー残量が0（トリガーを引いても照射しない）場合、
充電開始から照射が出来るまでに5～10分程度時間がかかります。
満充電までは約5時間程度です。

14-4. 設定用コード（スキャナー）



○スリープモード

指定した時間にてBluetoothをOFFにして省電力モードへ切り替わります。

 %A272	スリープ 1分	 %A273	スリープ 10分
 %A270	スリープ OFF ※デフォルト		


○キーボードの設定（違う記号になる等の対処）

お使いの端末により、キーボードレイアウトを設定する必要があります。

 %0ZV9	日本語 キーボード ※デフォルト	 %0ZV0	英語 キーボード
--	------------------------	--	-------------

○末尾付加コード送信の有効・無効

バーコードの送信時に末尾に文字を付加するかの設定です。
無効にするとバーコードデータのみ送信されます。
有効にすると任意の1文字が末尾に付加されます。
次ページにて設定を行っていない場合は「Enter」が送信されます。

 20C1001	末尾送信有効 ※デフォルト	 20C1000	末尾送信無効
--	------------------	--	--------

14-3. 設定用コード（スキャナー）

○読み取り時ビーブの有効・無効

バーコード読み取り成功時のビーブを鳴らすか鳴らさないかの設定が可能です。

 1040021	有効 (読み取り時 音をだす) ※デフォルト	 1040020	無効 (読み取り時無音)
--	---------------------------------	--	-----------------

○読み取り時ビーブの音量

バーコード読み取り成功時に流れるビーブ音の大きさを設定できます。

 2050800	大 (デフォルト)	 2050801	中
 2050802	小		

○トリガーモード(照射の方法)

照射の際に照射を出す方法を選択できます。

・トリガーモード

トリガーを押された際に照射をするモードです。

・プレゼンテーションモード

バーコードリーダーの光が出る部分にバーコードをかざすことで自動で照射を開始します。

 N008A00	トリガー モード ※デフォルト	 N008A07	プレゼンテーション モード
--	-----------------------	--	------------------

8.LEDの動作（スキャナー）

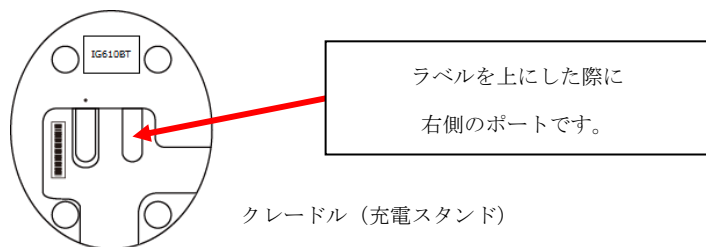
ステータス	スキャナー	
	LED	ビーブ音
電源オン	緑とブザー同時	長-長-長* 2回ループ
バッテリー残量なし	赤色点滅 3回	短-短-短
バッテリー少ない：警告	赤色点滅毎秒 1回	長 20秒ごとに
バッテリーとても少ない	赤色点滅 4回	短-短-短-短 10秒毎に
メモリがMAX	赤色点滅 2回	長-長
成功送信またはメモリを節約	緑点滅 1回	長
送信失敗	赤色点滅 2回	短-短
セットアップ	緑とブザー同時に	短-短-短
BT 接続待機(未ペアリング)	青色点滅 毎秒 2回	
BT 接続成功直後	青色 2秒	3 アップトーン
BT 接続時 (ペアリング時)	青色点滅 毎秒	
BT 切断	青色 2秒	3 ダウントーン
充電中	赤色点灯	
フル充電	緑点灯	
スリープ		3 ダウントーン
完全放電につき充電待機	黄緑色点灯	※充電準備を行っています。 スタンドに設置して待機ください。 ※赤の充電開始ランプになるまで 5分程度時間を要する場合があります。

9.LEDの動作（クレードル）

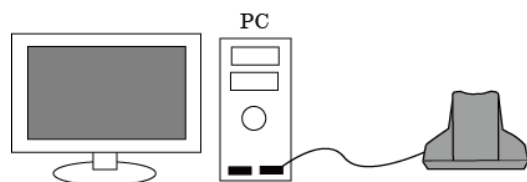
ステータス	クレードル	
	LED	ビーブ音
電源 ON	赤色点灯	
送信成功	緑点滅 1秒	
BT 接続	青色点滅 繰り返し	
BT 切断	青色点滅 2秒毎	

10. ペアリング (クレードルを使う)

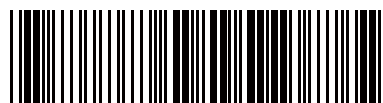
1. クレードルに USB ケーブルを接続します。



2. PC と接続します。



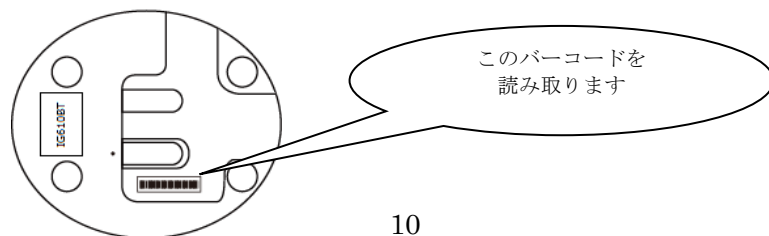
3. 下記のバーコード上から順に読み取ります。



%+\$000C\$
接続を解除・クレードルモードへ変更
読み取り直後ビープ1回

4. クレードル裏側のバーコードを読み取ります。

※読み取りにくい場合、PC から取り外したりして
読み取りやすい状態で読み取ってください。
読み取り後、すぐに PC に接続ください。



14-2. 設定用コード (Bluetooth)

○文字間遅延の設定



1 文字ごとに送信遅延を入れます。
受け側の端末で処理が追いつかない場合や桁落ち (全ての桁が送信されない) 時にご利用ください。
0ms より 1 段階ずつ値を増やしていき、送信に問題の値でご利用ください。

 %0070	0ms ※デフォルト	 %0071	5 ms
 %0072	10ms	 %0073	25 ms
 %0074	50ms	 %0075	100ms
 %0076	200 ms	 %0077	300ms

14-1. 設定用コード (Bluetooth)

○範囲外蓄積 (範囲外 Batch モード)

有効にすると通信切断時は蓄積モード、範囲内では HID 送信 (通常送信) モードになります。また、通信復帰時にトリガーを引くことで蓄積データを送信します。

 %A144	範囲外蓄積有効 (デフォルト)	 %A140	範囲外蓄積無効
--	--------------------	--	---------

○送信モード選択 (蓄積送信)

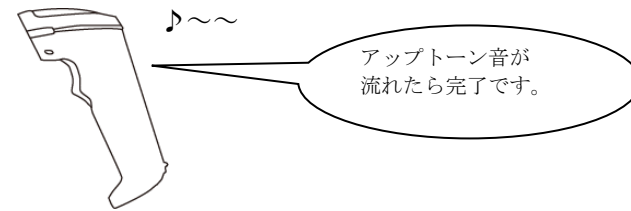
バッチモードを選択するとリアルタイムでデータを送信せず、データを蓄積します。次ページの「データ送信」を読み取ると蓄積データを送信します。

 %A100	通常送信 (デフォルト)	 %A108	バッチモード/ 常にデータ蓄積
--	-----------------	--	--------------------

上記にて「バッチモード」・または「範囲外蓄積有効」を設定した際に利用可能です。

 %+\$0000\$	メモリの最後に 保存されているデータを消す。 ※直前の 1 データのみしか消せません。
 %+\$000H\$	メモリのデータを送信する (ペアリング中でバッチモード時のみ)
 %+\$000I\$	メモリのデータを すべて削除 ※上のバーコードでデータを 送信後に削除することが出来ます。

5. バーコードリーダーから 3 アップトーン音が鳴ると設定完了です。



6. メモ帳・Excel・在庫管理ソフトなどを

起動しバーコードを読み取らせませす。

以上で設定は完了です。

	A	B	C
1	12345		
2	12345		
3			

例：「12345」のバーコードを 2 回読み取った場合

11. ペアリング（その他 Bluetooth 端末）

1. 下記のバーコード上から順に読み取ります。



%+\$000C\$（接続解除）
読み取り直後ビープ1回

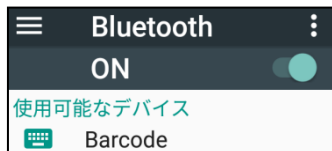


%A1J0（HID モード）
読み取り直後ビープ1回

2. 受信機側の Bluetooth の画面を開きます。
「Barcode Scanner with Bluetooth」や「barcode」と書かれたものを選択します。



- ・例：ios の場合
名前は省略されることもあります。



- ・例：Android の場合
名前は省略されることもあります。

3. コードの入力を要求が出てきた場合は「4」、
出てこないで接続出来ている場合は「5」に進みます。



例：ペア設定要求画面
代表例です。OS や
受け側の機種により異なります。

14. 設定バーコード利用方法

○設定を行うには直接設定コードを読み取ります。

例：読み取り音量を「小」にする。

1. 該当する設定コードを読み取ります。



2. 以上で設定完了です。

※注意

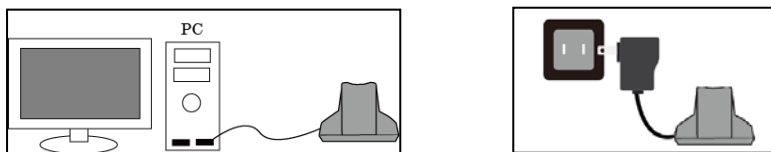
このマニュアルはよく使われる設定コードを抜粋したマニュアルです。
より詳細な設定を行う場合は付属の英語マニュアル、
もしくは下記のリンクより日本語版マニュアルをご確認ください。

■ダウンロード URL■

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html#down

13. 設定用コード 2 (初期化関連 2)

1. クレードルを USB ケーブルで PC に接続するか AC ケーブルに接続ください。



3. Bluetooth の初期化を読み取ります。



#+\$000C\$
(Bluetooth 初期化)

3. 再ペアリングするまで待機します。
再ペアリングには 20~30 秒、時間がかかります。



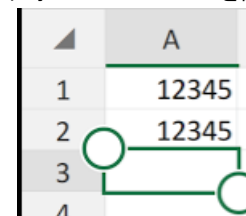
アップトーン音が
流れたら完了です。

以上で完了です。

4. コードを入力します。
※受信機側によって表示される画面、操作は変わります。

0 	1
2 	3
4 	5
6 	7
8 	9
Enter 	

5. バーコードリーダーから 3 アップトーン音が鳴ると設定完了です。
メモ帳や在庫管理のアプリ等にてバーコードを読み取ると送信されます。

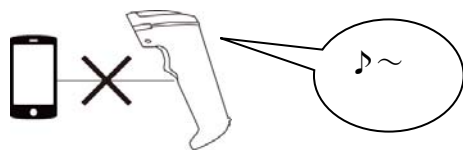


12. モード別操作：範囲外蓄積

・範囲外蓄積機能（デフォルト ON）

範囲外や通信不良時にデータの送信ができない場合、
スキャナー本体にデータを蓄積し、再度通信が復帰した時にデータを送信できます。

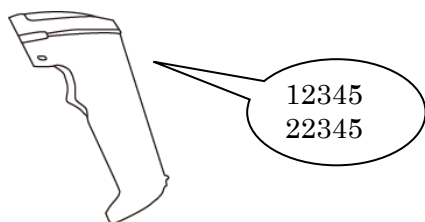
1. 範囲外に出るとスキャナーから 1～2 秒ほどのダウントーン音が出ます。



2. この状態でバーコードを読み取ると MD300BT にコードを保存します。

※13桁のバーコードを 3 万件程度可能です。

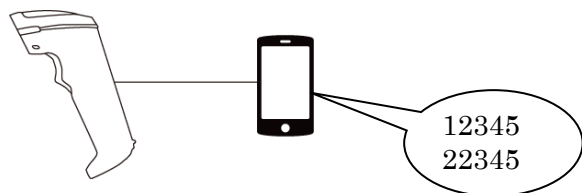
メモリが MAX になると、LED は赤色点滅 2 回、ピーブ音が「長い長い」音が出ます。



3. 範囲内に戻ると 1～2 秒ほどのアップトーン音が出ます。



4. この状態でトリガーを 2 回押すと蓄積したデータが送信できます。

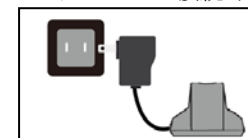
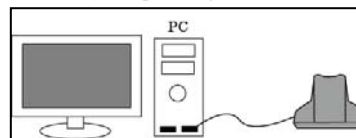


※クレードルと繋いでいる場合、PC とクレードルが USB ケーブルで繋がっていない等の理由でデータが正しく送信されなかった場合は「ピピッ」とエラー音がします。

13. 設定用コード 1（初期化関連 1）

◆全て初期化する

1. クレードルを USB ケーブルで PC に接続するか AC ケーブルに接続ください。



2. 本体初期化 1 を読み取ります。



本体初期化 1

3. Bluetooth の初期化を読み取ります。



%+\$000C\$

(Bluetooth 初期化)

3. 再ペアリングするまで待機します。

再ペアリングには 20～30 秒、時間がかかります。



アップトーン音が
流れたら完了です。

4. 下記の 2 つのコードを上から順に読み取ります



%\$+/2

(クレードルを初期化)



(本体とクレードルを初期化 2)

以上で完了です。